

スパークス・M&S・ジャパン・ファンド（愛称：華咲く中小型） 絶好の投資タイミングの訪れた中小型株

▶ 市場の下落局面での運用チームの考えと割安感の高まる中小型株

2020年に入り、新型コロナウイルス感染拡大の影響で株式市場は大きく下落しました。昨年12月末と比較して、当ファンドは3月末現在-18.9%、ベンチマークであるラッセルノムラミッドスモールキャップ指数（配当込み）は同-19.5%となりました。

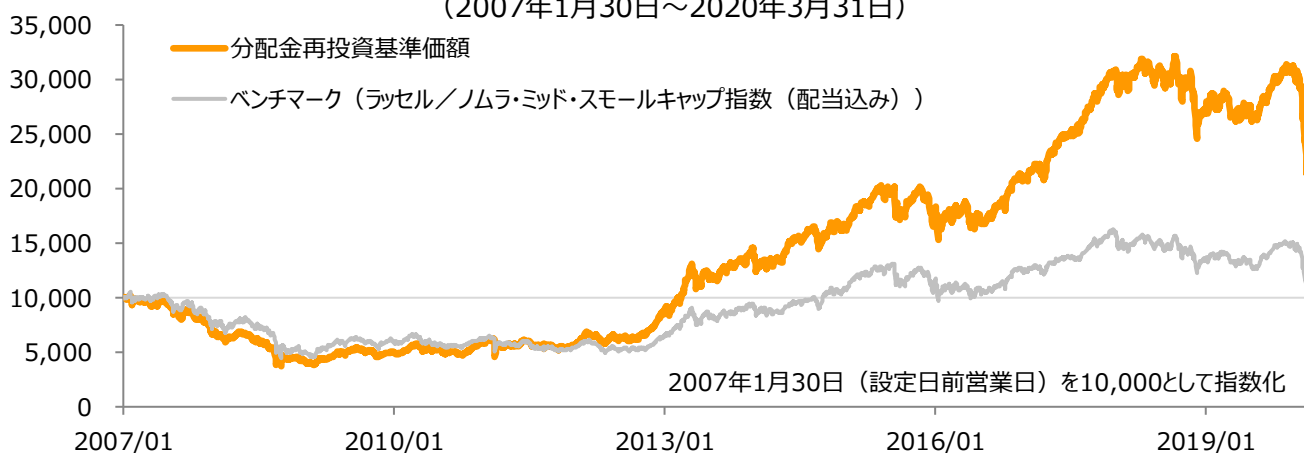
短期的に基準価額は大きく下落していますが、**当ファンドは投資プロセスから逸脱した投資行動は行わず、従来通りの運用を継続しています**。それは、短期的な上昇を狙って運用手法を変えることが必ずしも中長期でのパフォーマンス向上に貢献するとは限らないからです。**短期的な上昇を狙わなくとも長期的なパフォーマンスの積み上げは可能だと考えています**。株価が下落する中で長期的に見て割安かどうかを判断することは変わらないので、**現在のように短期的に株価のボラティリティは大きくなったときは、むしろ新しい投資機会を見つけるチャンスだと考えています**。

世界各地で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、当面の間経済活動が停滞することは避けられないと考えます。しかし、今回のような「予期せざるリスク」が顕在化したことで、今後の人々の行動、ひいては企業活動の前提となる考え方が変化していく可能性が高いと考えられます。当ファンドで投資しているNECネットエスアイ（銘柄コード：1973）は10年以上前から働き方改革、リモートワークに取り組んできていましたが、今回のショックで急速に社会での認知度が高まりました。

このように、中小型株式の魅力は、マクロ環境に依らない企業特有の成長機会が多い点にあります。昨今のような景気悪化が避けられない環境において、中小型株戦略の優位性は一段と高まっていくと考えます。今後も短期的な株価の下落に一喜一憂することなく、中長期における良好なパフォーマンスの創出に努めてまいります。

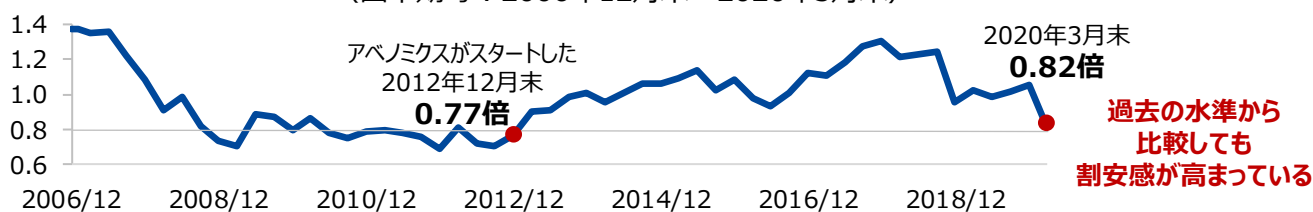
当ファンドの基準価額の推移

（2007年1月30日～2020年3月31日）



TOPIX SmallのPBRの推移

（四半期毎：2006年12月末～2020年3月末）



※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

※ 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 当ファンドのベンチマークは、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。

※ 当ファンドのベンチマークについては、P4をご確認ください。

※ 上記はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。また、過去の実績等は将来の結果をお約束するものではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年3月31日現在）

当資料は販売補助資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

▶ 過去が物語る！ 下落タイミングこそ当ファンド買い増しの好機

- 2020年に入り、**基準価額が下落している状況においては、当ファンドの買い増しをすることで、長期的なリターンを獲得するチャンスであると考えています。**
- お客様のご資産を当ファンドに投資し、1カ月で基準価額が10%以上下落したタイミングで当ファンドを下落時に計5回（①～⑤）買増したAさんは、継続保有したBさんと比較して266万円程投資リターンが高くなっています。当ファンドはこれまで高いリターンを上げてきましたが、このように、下落局面で買増をすることでより高いパフォーマンス効果が期待できます。
- 現在のように短期的に大きく下落しているタイミングは、過去のあまりない絶好の当ファンド押し目買いのチャンスであると考えています。**

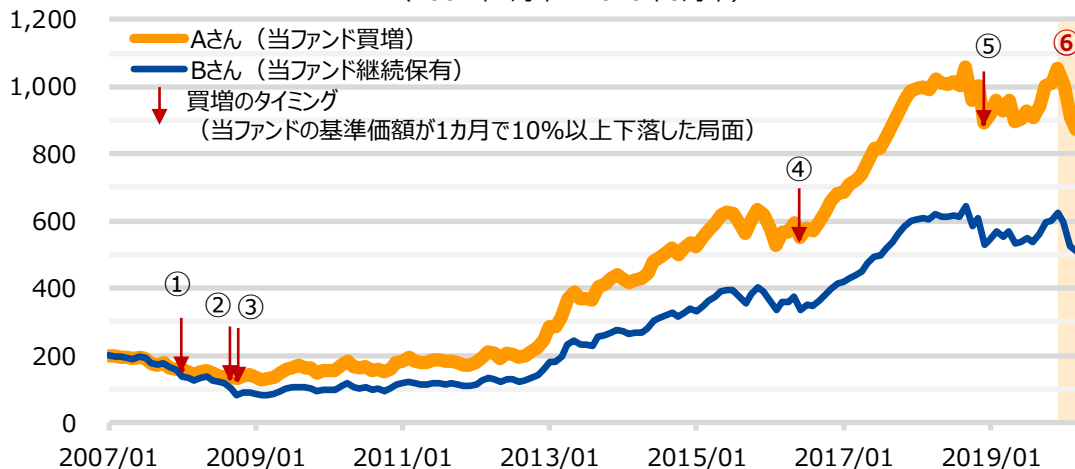
シミュレーション条件と投資効果（円）

	投資対象	初期投資 (2007年1月末)	保有期間中の追加投資	投資金額合計	投資成果金額 (2020年3月末)	投資リターン
Aさん	当ファンド	200万	100万 基準価額が10%以上下落した タイミングで20万円ずつ買増 (計5回)	300万	874万	574万
Bさん			0 保有期間中売買せず 継続保有	200万	508万	308万

AさんとBさんの
投資リターンの差
266万円

投資行動とパフォーマンスの推移

(2007年1月末～2020年3月末)



期間	下落率	期間	下落率
①2007年12月末～ 2008年1月末	-13.0%	④2016年5月末～ 2016年6月末	-10.8%
②2008年8月末～ 2008年9月末	-13.8%	⑤2018年11月末～ 2018年12月末	-13.1%
③2008年9月末～ 2008年10月末	-18.6%	⑥2020年1月末～ 2020年2月末	-12.0%

①～⑤
設定来約13年の急落局面

⑥
**直近押し目買いの
チャンス局面到来**

※ シミュレーションは分配金再投資基準価額を使用しております。

※ 分配金再投資基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したもとして計算しております。

※ 当該シミュレーションは、当ファンドの過去の実績をもとにしたシミュレーションであり、当ファンドの実績ではありません。また、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年3月31日現在）

当資料は販売補助資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

主な投資リスク

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ（価格変動率）が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※ 基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他留意点

- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、投資リスクを適切に管理するため、運用部門ではファンドの特性に沿ったリスク範囲内で運用を行うよう留意しています。また、運用部門から独立した管理担当部門によりモニタリング等のリスク管理を行っています。

当ファンドに係る費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率2.057%（税抜1.87%）を乗じて得た額とします。 〔委託会社1.21%（税抜1.10%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.077%（税抜0.07%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書の作成、印刷および提出等に係る費用
随時	その他費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※組入る有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

● 当ファンドのベンチマークについて

ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）はRussell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びRussell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社及びRussell Investments は、ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
 （加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
 ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第19号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第65号	○			○
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第43号	○			
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号	○		○	○